

事務事業名		越喜来診療所運営事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業
政策体系	政策名	0 2 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間	
	施策名	0 8 生涯にわたる健康づくりの推進		区分	
	基本事業名	0 2 地域医療の充実		単年度繰返	
根拠法令	国民健康保険法第82条、国民健康保険条例第5条、国民健康保険診療所設置条例		※期間欄に開始年度を記入		会計
所属	部課名	市民生活部国保医療課		【開始年度】	
	課長名	佐々木 直央		平成13 年度～	
	係名	越喜来診療所	電話	0192-44-2103	
	担当者	中嶋 聖志	内線	-	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)	
地域住民の医療の確保と健康の保持増進を目的とする事業				総投入量(千円)	
主な業務は次のとおり。 ①診療業務(9:00～17:00) ②往診(随時)・訪問診療(計画により)業務③健康診断業務(個人、事業所健診) 事業費の内容は、医療用消耗品購入費、医療機器賃借料、医薬材料費(薬剤等)、施設維持管理費(光熱水費等)、医療事務委託費などが主である。				国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動)	名称	
①疾病患者に対する診療、指導。②健康診断の実施。それを受けての事後指導。③訪問診療④往診(患者から依頼を受け随時対応)。	ア	診療日数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)	イ	往診・訪問診療件数
前年度と同じ	ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
主に越喜来地区の住民	名称	
	カ	行政区内人口
	キ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
病気を治す。 病気を予防する。	名称	
	ク	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)	サ	延べ患者数
早期に適切な医療が受けられ、地区住民の健康増進が図られる。	シ	健康であると感じている人の割合
	ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	15,200	0		
		その他	千円	34,252	28,864	29,061	22,644	22,644		
		一般財源	千円	32,253	42,628	39,174	38,245	38,245		
	事業費計(A)			千円	66,505	71,492	68,235	76,089	60,889	
	人件費	正規職員従事人数	人	10	10	8	8	8	8	
		延べ業務時間	時間	13,800	13,800	10,900	11,100	11,100		
		人件費計(B)	千円	55,200	55,200	43,600	44,400	44,400		
		トータルコスト(A)+(B)			千円	121,705	126,692	111,835	120,489	105,289
⑤活動指標			単位	240	240	239	237	237		
			ア	日						
			イ	件	65	57	33	34	34	
			ウ							
⑥対象指標			カ	人	2,198	2,098	2,021	1,967	1,967	
			キ							
			ク							
⑦成果指標			サ	人	7,470	7,201	7,197	10,103	10,103	
			シ	%	54.9	57.7	57.6	58.5	58.5	
			ス							

事務事業ID	0306	事務事業名	越喜来診療所運営事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	地域医療の確保と健康の保持増進を目的とし、昭和31年9月30日から三陸村国保直営越喜来診療所として開設された。その後、昭和42年4月1日から町制施行により三陸町国保越喜来診療所と改称し、平成13年11月15日、大船渡市との合併により大船渡市国民健康保険越喜来診療所と改称されている。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	平成8年度に診療所の改修と併せ無床化となる。また、平成13年5月から、土曜午前の診療を廃止し、平日のみ終日診療を行っている。(それまでは土曜日の午前診療、水曜日の午後休診) 令和2年4月から医科診療所の診療体制の変更に伴い、小児科及び内科診療を行っている。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	診療の待ち時間を軽減するため、内科診療について、予約制を取り入れてほしいとの要望がある(小児科では一部実施済み)。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ▽ 理由・内容 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつか？意図することが結果に結びついているか？ 地域の医療ニーズに応えるべくこの事務事業を推進し、成果(病気の治療)をあげることで、市民一人ひとりの健康づくりの一環として重要な役割を果たしていることから政策体系と結びつく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ▽ 理由・内容 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 三陸地区はほかの医療機関(開業医等)の進出が困難なことから、市が実施主体とならなければ地域住民の医療の確保と健康の保持増進を図ることが不可能であることから関与は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ▽ 理由・内容 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 越喜来地区において唯一の医療機関であり、主に地区住民を対象としており、対象・意図は妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ▽ 理由・内容 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 夜間・休日診療を実施してほしいとの要望があるが、診療体制の問題などの関係があるため実施は難しい。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ▽ 理由・内容 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 患者の大半は高齢者であり、移動手段の確保の問題から、市中心部への医療の受診が難しい。また、往診や訪問診療など、在宅において医療を受けている患者にも影響が出ることが懸念されるため、事業を廃止・休止できない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費の主なもの人件費、診療材料費、施設管理費(各種業務委託等)であり、削減した場合、診療に支障をきたすこととなり、この事務事業による成果は低下することから、事業費の削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど) 現在の業務所要時間が最低限の所要時間である。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ▽ 理由・内容 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 患者窓口負担の割合が、国で定めた診療報酬により全国均一で定められている。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																				
1 現状維持	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上				維持		●	×	低下		×	×	当面、現状維持とするものの、少子高齢化の進展や人口減少に伴い、患者数は年々減少傾向にあることから、医療従事者の人材確保を含めて、安定した診療所運営により、住民の誰もが健康かつ安心して暮らすことができるよう、地域医療を市内全体で俯瞰しながら、診療所の在り方についても、検討する時期となっている。
	コスト																					
	削減	維持	増加																			
向上																						
維持		●	×																			
低下		×	×																			
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	現状維持とするが、医療従事者の人材確保を含めて、将来にわたり住民の健康が維持されるよう診療所の経営改革が必要な時期にあると捉え、今後、外部の意見も取り入れながら、診療所の在り方について早期に検討する。